

## 黒田総裁が被災地訪問

(二〇一三年六月十六～十七日)

▼日本銀行の黒田東彦総裁は、六月十六日から十七日にかけて、東日本大震災により甚大な被害を受けた宮城県仙台市・石巻市、および福島県福島市を訪れました。

▼黒田総裁は、各地で地元企業・地域金融機関の代表者の方々や行政関係者と復興の現状や課題について意見交換を行ったほか、石巻市の水産加工団地など特に被害の大きかった地域について、津波被害の大きさや復興状況を直接確認しました。視察に際して総裁は「日銀は被災地の金



石巻市の水産加工団地の復興状況等について説明を受ける黒田総裁（左）  
(写真提供：時事通信社)

融機関向けに低利でお金を貸す制度を設けており、先日利用期限を延長した。できるだけ早く復旧復興が進むよう、日銀もできる限りの貢献をしていきたい」と述べました。

## 「日銀夏休み子ども特別見学会 二〇一三」を開催しました

▼「日銀って何をしているところ?」そのようなお子様の好奇心に応えるため、日本銀行本店では六日間(注)にわたり「日銀夏休み子ども特別見学会二〇一三」(協力：金融広報中央委員会)を開催しました。八月二十日には、日本銀行を代表して黒田総裁からご挨拶させていただきました。

(注) 七月三十一日(水)、八月一日(木)・二日(金)・二十日(火)・二十一日(木)

▼今回の見学会では、日本銀行の仕事や金融・経済の仕組みについて分かりやすく説明したビデオを視聴し、日本銀行の役割について知っていただきました。また、国の重要文化財に指定されている本店本館(旧地下金庫など)や実際に窓口の仕事をしている新館営業場を見学してい



黒田総裁の登場はサプライズとなりました

ただきました。

▼その後、体験学習として、小学校四年生と中学生と保護者の方向けの親子参加プログラムでは、一億円の重さ体験、お札の偽造防止技術、お札の数え方等、親子で楽しく学んでいただきました。また、今回新たに設けた中学生だけのプログラムでは、「金融政策を決めるのは、君だ!」と題し、グループに分かれて架空の経済ニュースをもとに景気・物価とそれを踏まえた金融政策について議論しました。最後に、実際の政策決定会合同様に、議長が金融政策を提案し、メンバーの多数決で決定しました。未来の政策委員たちの白熱した議論で、会場は終始熱気にあふ

れていました。  
▼毎回ご好評をいただいておりますこの見学会、次回の開催は春休み期間中を予定しております。どうぞご期待ください。



プロの指導でお札の数え方を体験



子ども金融政策決定会合の結果は?

「にちぎん体験2013」を  
開催します

▼日本銀行本店では、十月二十八日（月）～十一月四日（月）の期間（除く十一月二日（土））に、「にちぎん体験2013」と題して、企画展・市民講座・本店見学ツアーを開催します。ぜひご来場ください。

①企画展（開催期間中常設、予約不要）…本店本館内に特設した展示室にて、日本銀行の役割・業務、歴史についてご紹介いたします。

②市民講座（十月二十八日（月）～十一月一日（金）、十一月四日（月）、要予約）…日本銀行の役割や日本銀行の歴史、お金をめぐる話題などをテーマに、日本銀行職員が説明します。

③休日本店見学ツアー（十一月三日（日）・四日（月）、要予約）…通常平日のみに実施しているツアーを休日に開催します。重要文化財に指定されている本店本館の建物内部をご案内します。

④レクチャー付き本店見学ツアー（十月二十八日（月）～十一月一

国の重要文化財に指定されている日本銀行本店本館



日（金）、要予約）…本店の見学後、日本銀行職員が日本銀行の役割などについて説明します。

\*詳しい内容や時間、事前予約の方法などについては、日本銀行HPをご覧ください。

<http://www.boj.or.jp/>

【会場】日本銀行本店

（東京都中央区日本橋本石町）

【お問い合わせ先】

日本銀行情報サービス局

総務企画グループ

〇三―三三二七―二五六八

貨幣博物館テーマ展  
おかねの材料とつくりかた  
を開催しています

三月三十日まで

▼お金は、どんな材料から、どのようにつくられてきたのか、ご存じですか。

ある特定の金属を、人々に広く行きわたる「お金」に変えていく。それを実現するために、先人たちはどのような知恵を用い、工夫をこらしてきたのか。その足跡をたどってみましょう。

発見があり、驚きがあり、そしてお金の大切さを、あらためて実感することができると思っています。

▶会期中の開館時間▶

【開館時間】九時三十分～十六時

三十分（入館は十六時まで）

【休館日】月曜日、祝日（ただし土曜日・日曜日と重なる場合は開館）、年末年始（十二月二十九日～一月四日）

以下の月曜日は開館します。十月十四日、十月二十八日、十一月四日、十二月二十三日

【臨時休館日】十一月十六日、一月二十五日

※最新の開館情報は貨幣博物館HPをご覧ください。

<http://www.imes.boj.or.jp/cm/>

【入館料】無料

【所在地】東京都中央区日本橋本石町一―三―一（日本銀行分館内）

【お問い合わせ先】

〇三―三三二七―三〇三七



右／和同開珎の鑄型（八世紀）  
下／原材料となる銅鉱石を採掘する様子（鼓銅図録）一八世紀初頭



## 編集後記

■今回は、キザニアの住谷社長、心臓血管外科医の石坂先生から、「子どもの生きる力」・「命」をテーマに、「困難を乗り越え、将来を切り開くためには何が必要か」という点で大変示唆に富むお話を伺うことができました。臨場感があり、現場に惹き込まれたような感覚にもなります。

また、北海道奥尻島の方々の震災後20年の歩みは、真の復興とは何か、を雄弁に物語ってくれました。奥尻島の美しい自然と、厳しい環境を乗り越え希望に繋げていく地域の方々の取り組み、まさしく「地域の底力」と実感します。元々少子高齢化、過疎化に悩んできた地域の復興、そのあり方は、東日本大震災の被災地の将来に重なってくる面もあるように思います。

今回は、私どもの決済機構局が取りまとめた「東日本大震災直後の金融・決済面の動向」や「黒田総裁の被災地訪問」の様子も掲載しました。前者は大震災をお金の面から振り返って、震災の影響や民間金融機関・日本銀行等の対応を整理しています。私どもの政策・業務関連記事を含め、ご覧いただければ幸いです。(丹治)

■奥尻という名は、アイヌの言葉「向こうの島(イクシリ)」に由来するという。北海道南西沖地震の津波被害からの早期復興とその後の厳しい現実。しかし、新たな希望は確かに芽吹いている。奥尻ワインをはじめとする様々な取り組みが結実して人口減少を食い止め、奥尻が「希望の島」に生まれ変わる日が近いことを祈りたい。(TO)

※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。(http://www.boj.or.jp/announcements/koho\_nichigin/index.htm/)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解等については、日本銀行ホームページ (http://www.boj.or.jp/) をご覧ください。

にちぎん 2013年秋号  
編集・発行人 丹治芳樹  
発行 日本銀行情報サービス局  
〒103-8660  
東京都中央区日本橋本石町2-1-1  
☎ 03-3277-2405

デザイン 株式会社市川事務所  
印刷 音羽印刷株式会社  
©日本銀行情報サービス局 禁無断転載

\*本誌の用紙は、環境・社会・経済のすべての側面に配慮した厳しい基準に従って適切に管理された森林からの木材を原料としていることを示す、FSC認証紙を使用しています。

## 「親子のための おかね学習フェスタ」を 全国五カ所で開催しています

▼金融広報中央委員会(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、おかねについて親子で楽しく学べる体験型イベント「親子のためのおかね学習フェスタ」を、全国五カ所で開催しています。

▼私たちを取り巻く金融・経済環境が大きく変化し、おかねに関する知識を身につけることが今まで以上に重要になってきています。こうした中、今回のイベントでは、おかねに

関するさまざまな体験型プログラムをご用意していますので、皆様お誘い合わせのうえぜひご来場ください。

【プログラム】子どものためのおかねのおはなし会、おかねの体験学習プログラム、ガチャピン・ムックのスペシャルショー、貯金箱作り、おかねクイズなど。

【お申し込み方法】一部のプログラムは予約制・先着順です(注)。

開催の約二カ月前より予約を受け付けます。参加費無料。

(注) 予約は先着順に受け付け、定員に達した場合は締め切らせていただきます。

【お申し込み・お問い合わせ】  
公式サイト: <http://www.festa2013.net/>

親子のためのおかね学習フェスタ事務局:  
〇二〇一五二五〇  
五二二(受付時間:平日  
十時~十八時)

【開催日程】滋賀(八月  
二十四日、開催済)、山  
梨(九月二十二日、開催  
済)、北海道(十月十四日)、  
大分(十一月二十三日)、  
東京(十二月十五日)



©FUJITV KIDS